

2014年1月31日

富士フイルムホールディングス株式会社

2013年度 第3四半期 決算説明会

主な質疑応答

Q1: デジタルカメラについて3Qでは損益改善が見られるようだが、通期や来年度の見通しはどうか。

A1: 下期での黒字化は見えてきたものの、通期での黒字化には至らないという見通し。また、来期に向けては今年度の損益改善施策効果の刈り取りができる体制は整ったと見ている。

Q2: キャッシュフローも改善しているようだが、その要因は？また、今後もこの水準を維持していけそうか。

A2: 全社的に取り組んでいる在庫削減効果、及び設備投資の抑制効果が当初予想よりも出てきている。また、来期もこの水準で推移すると考えている。

Q3: T-705の承認状況についてアップデートをお願いしたい。また、承認された場合の今期業績への影響は？

A3: T-705については承認待ちであるという状況に変わりはなく、承認時期や業績影響についても現段階ではコメントできない。

Q4: 来期の業績について方向性を確認させてもらいたい。

A4: 来期については計画立案中であり、まだ具体的にコメントできる段階にはないものの、増収増益を狙っていく。また、次期中期計画についても立案中であり、来秋を目処にまとめていく。

Q5: WVフィルムの販売が3Qで好調だった背景は？

A5: PCモニター需要の落ち込みがやや収まってきていること、またタブレットでの搭載が増えていることが好調の要因となっている。

以上